

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	南流山駅北口地下通路管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課			
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	染谷 祐治			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	南流山駅北口地下通路	意図	駅へのアクセス通路である地下通路の安全で快適な供用。
事業内容	・地下通路に係る階段、エスカレーター、照明施設等の適正な維持管理するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	・平成17年8月のTX開業に伴い、従前の横断歩道橋に替わって道路を横断する施設として、地下駅及び駅前広場等へ駅周辺を含めた利用の一体化を図る地下連絡通路（階段通路）として整備。駅利用者の増加に伴い、不測の事態への対応が必要となる。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		支障処理件数	0	1	0	件	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						・支障件数及び利用者からの情報提供もなく、適正な維持管理が図られた。
	事務事業のコスト						
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,180,650	5,007,720	4,990,320			
事業費(b)(円)		5,112,000	4,940,600	4,924,400			
うち一般財源		5,112,000	4,940,600	4,924,400			
職員給与費(c)(円)		68,650	67,120	65,920			
人役・職員(人)		0.01	0.01	0.01			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

H30当初の改善計画(Plan)	・開設後10年以上経過したことから、大規模修繕又は清掃について検討する。	取組における課題(Check)	南流山駅利用者の増加に伴い、保守点検及び清掃業務量の増加が懸念される。
H30に実施した取組(Do)	・日常清掃や定期清掃の報告を通して今後の修繕計画について検討した。	課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	引き続き、大規模修繕や清掃管理について検討する。